

## 工場の多いところ

自動車や道路の発達した現在では，大きな工場は，市内にあまり見ることができません。

コロombo市の中心部にある工場のできた年を調べてみると，スリランカがセイロンと呼ばれてイギリスの植民地だったところが多いことがわかります。

コロombo 2 の古くからある工場はベイラ湖のそばにあります。近くには駅や運河があり，できた製品をコロombo港に運ぶのに都合のよい場所だったからでしょう。

コロombo 1 4 の古くからある工場の近くには，昔ほど使われてはいませんが，貨物用の鉄道がしか



も運河があって，ケラニ川に通じています。 **コロombo 2 にあった清涼飲料水の大きな工場**

自動車のあまり発達していなかった昔は，原料や製品を運ぶのに，船や鉄道を利用しやすいことが，工場を建てる条件だったことがわかります。

市外では，コロomboからゴールロードを南へ行ったラトマラーナに生地，衣料品，ゴム製品などの軽工業の工場が多くあり，またネゴンボロードを空港の方に行ったジャエラは工業団地となっており，肥料やペンキなどの化学製品の工場があります。